

# 歌舞伎四百年記念シンポジウム



片岡仁左衛門丈

# 歌

# 舞

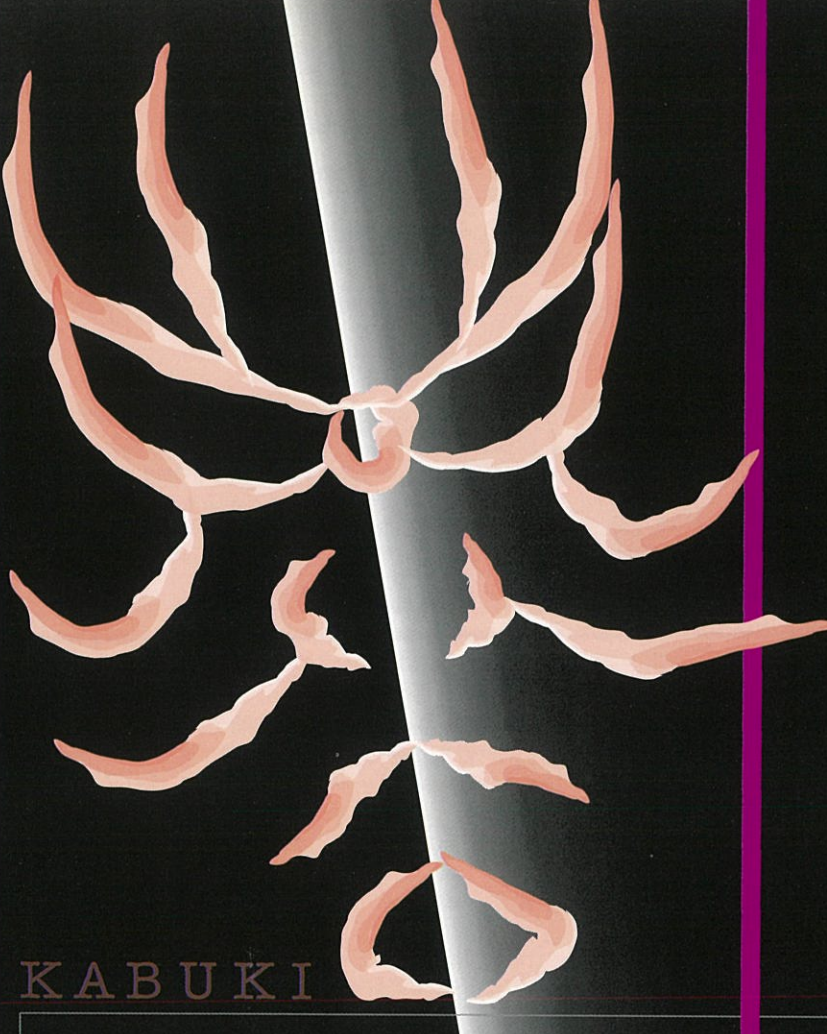
# 伎

2003  
KYOTO

入場無料

協力:京都造形芸術大学  
後援:京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、(社)京都市観光協会、島根県、島根県教育委員会、大社町、東海旅客鉄道(株)、『上方芸能』編集部、京都新聞社、朝日新聞京都局、読売新聞大阪本社、日本経済新聞社、池坊短期大学、華頂短期大学、京都光華女子大学・同短期大学部、京都嵯峨芸術大学・同短期大学部、京都女子大学・同短期大学部、京都精華大学、京都橘女子大学、京都ノートルダム女子大学、西山短期大学、成安造形大学、聖母女学院短期大学、同志社女子大学、平安女学院大学・同短期大学部、大阪成蹊大学芸術学部・成安造形短期大学

財団法人 **大学コンソーシアム京都**  
The Consortium of Universities in Kyoto



KABUKI

# プラザカレッジ 京都学特別講座

2003年 8月 31日(日)

時間 13:00-16:00

会場 春秋座(京都造形芸術大学)

定員 750名

■パネルディスカッション 13:00-14:30

【“女”をキーワードに  
～歌舞伎をタテから、ヨコから、ナナメから～】

コーディネーター

森西 真弓(池坊短期大学助教授)

パネリスト

田口 章子(京都造形芸術大学教授)

正木 ゆみ(京都女子大学短期大学部助教授)

林 久美子(京都橘女子大学助教授)

■休 憩 14:30-15:00

■記念講演 15:00-16:00

【歌舞伎と京都と私と】

講師

片岡仁左衛門





# 歌

# 舞伎

## プラザカレッジ京都学特別講座 歌舞伎四百年記念シンポジウム

「歌舞伎誕生から400年。発祥の地・京都で実施する若手女性研究者によるパネルディスカッションと、京都育ちの人気俳優・片岡仁左衛門さんの講演。ゆめゆめお見逃しなく。」

2003年は、京都でかぶき踊りを始めた出雲の阿国が歴史上に名前を現してからちょうど400年。長い戦乱の世がようやく終焉を告げた近世初頭、阿国は、当時の最先端の流行を取り入れて自分のパフォーマンスに反映させ、平和を満喫する大衆の圧倒的な支持を得た。男装する女性芸能者たちは「傾(かぶ)き者」と呼ばれるようになる。それに「歌舞伎」の文字を当てたセンスこそ、この芸能の生命力の源だった。

その後、女歌舞伎や遊女歌舞伎が風紀を乱すものとして幕府から禁止されると、美少年たちによる若衆歌舞伎がそれに代わるものとしてもてはやされるようになる。この若衆歌舞伎が再び幕府から弾圧されると、今度は成人男性による野郎歌舞伎の形式が生まれ、ビジュアル面にもまして舞台内容の充実が図られ、劇場の整備も整い、数多くの名作や名優を輩出して現在に至った。

歌舞伎は伝統芸能であると同時に、21世紀の現在も興行として成立する舞台芸能である。

そのパワーの源泉はどこにあるのか。始祖・阿国に因んで、京都の大学に所属する若手女性研究者たちが「女」をキーワードに、歌舞伎を縦横無尽に語り尽くすパネルディスカッションと、京都にゆかりの深い人気俳優・片岡仁左衛門さんの講演を通して、改めて歌舞伎の魅力をアピールしたい。

### ■パネルディスカッション

【“女”をキーワードに～歌舞伎をタテから、ヨコから、ナナメから～】

コーディネーター



**森西 真弓** (池坊短期大学助教授、『上方芸能』編集長)  
専門: 上方の近代芸能史  
著書: 『上方芸能の魅惑 一 福治郎・玉男・千作・米朝の至芸』(NHK出版)など。  
思い入れ: 中学生の頃からの歌舞伎ファン。高校生時代には片岡孝夫後援会に入っていたことも。



**田口 章子** (京都造形芸術大学教授)

タイトル: 恋する歌舞伎の女たち

概要: 歌舞伎は恋愛をテーマにした、恋する女と男の物語でいっぱいである。とりわけ恋のヒロインたちは過激でインパクトが強い。そんな女たちの恋愛を紹介する。男と女は本当に愛しあえるのかといった疑問を根底にもっている現代の私たちに新鮮な刺激を与えてくれるかもしれない。

専門: 日本近世文学。とくに歌舞伎。  
著書: 『江戸時代の歌舞伎役者』(中公文庫)など。

思い入れ: 小学生のころからの歌舞伎好き。京都南座で毎月歌舞伎がみられたら、どんなに幸せなことでしょう。



**正木 ゆみ** (京都女子大学短期大学部助教授)

タイトル: 女形の表現

概要: 歌舞伎の女形は、男性でありながら、様々な女性の外見だけでなく、心までもリアルに表現し、観客をドラマに引きこんでいきます。そのような女形の表現について、元禄上方歌舞伎の名女形、初代芳沢あやめなどを例にお話する予定です。

専門: 日本近世文学。近松門左衛門が活躍した時代の歌舞伎や浄瑠璃を中心に研究。

論文: 「初代芳沢あやめの「底にうれしいの思ひ入」」(歌舞伎 研究と批評 17)など。  
思い入れ: 根がミーハーなので、今の歌舞伎役者さんだけでなく、写真も映像も残っていない江戸時代の役者のファンにもなっています。歌舞伎は今も進化し続けるエンターテインメントだと思っています。

パネリスト



**林 久美子** (京都橘女子大学助教授)

タイトル: 悪女の魅力

概要: 歌舞伎の女形といえば、可憐で美しく、貞節であるべき存在でしたが、南北の悪婆物になると、伝法で殺しても厭わない姐御が活躍します。

悪女というのは、強い女。だから胸がすくのですね。女形の多様化と悪女の魅力について、映像を用いながらお話します。

専門: 日本近世文学。古浄瑠璃から出発しましたが、近頃は歌舞伎も含め、女性表現の可能性について考えています。

著書: 『近世前期浄瑠璃の基礎的研究 一 正本の出版と演劇界の動向一』(和泉書院)など。

思い入れ: 上方歌舞伎が文楽とともに元気であってほしいと願っています。

### ■記念講演

【歌舞伎と京都と私と】

十五代目片岡仁左衛門文



Profile ●プロフィール

1944年、十三代目片岡仁左衛門の三男として生まれる。

5歳で初舞台を踏んで以来、幅のある演技力と艶のある端正な容姿でトップクラスの人気を誇る。1998年に十五代目仁左衛門を襲名。

聞き手

森西 真弓 (池坊短期大学助教授、『上方芸能』編集長)

2003年 8月 31日(日)

時間 13:00-16:00

会場 春秋座(京都造形芸術大学)  
京都市左京区北白川瓜生山2-116

定員 750名



■申込方法 往復ハガキにて、氏名・カナ氏名・住所・電話番号・FAX・Eメールアドレスをご記入の上下記住所までお申込ください。

■申込締切 8月15日(金) 郵送必着  
\*抽選の上、受講生に整理券を返信いたします。

お申込・お問合せ先

財団法人 大学コンソーシアム京都

The Consortium of Universities in Kyoto

事務局プラザカレッジ係(担当:山崎・大内)

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町939 キャンパスプラザ京都

TEL. 075-353-9100 FAX. 075-353-9101

URL <http://www.consortium.or.jp> E-mail: [plaza@consortium.or.jp](mailto:plaza@consortium.or.jp)

入場無料